

## 1. 共通テーマにおける取り組み

令和4年度の共通テーマは幅広いので東区での取り組みは市共通テーマに関するものをこれまでもしているの  
でその実践を市共通テーマの取り組みとして以下の通り報告する。

### 【事例を用いた取り組み（11月開催）】

（検討内容）

- ・事例検討を充実しグループスーパービジョンの手法を取り入れ、北区と美原区協議会の手法も参考にする。
- ・今所属している機関でどう関わられるか考えるなどの工夫をする。
- ・10月運営会議で挙げた4事例から多くの専門機関に関係するとして事例②を意見交換の事例として抽出。

事例①：40代・療育B1・在宅・家族との3人暮らし。異性への接触があり警察介入があった。

- ・課題：日中の通所系サービスの利用を本人が拒否するケースへの地域での見守り体制。

事例②：50代・高次脳機能障害・休職中・子ども3人の生活を本人が支えてきた。

- ・課題：福祉サービスの利用等支援拒否の事例。・支援の方向性や社会資源の不足など。

事例③：40代・体幹機能1級・区分6・両親と三人家族・胃ろう有・呼吸器等有・重訪800H・在宅医療など

- ・課題：喀痰吸引可能な事業所が足りない。

事例④：20代・療育B1・50代の家族との3人暮らし。・日中の通所サービスにヘルパーと移動支援を利用。

- ・課題：第3者の見守りがないと大声での親子けんかになり近隣から苦情が挙げられている。

（結果）

- ・抽出された事例からは専門機関を活用しつつ現状の支援環境の継続となるも事例の中の子どもがヤングケアラーであることに焦点があたり、委員からはヤングケアラーの支援機関の情報がないとの意見があった。
- ・東区ダブルケア支援会議でヤングケアラーについて取り上げていたので事例の一つとして挙げていく。
- ・事例を用いた意見交換会自体は好評であったが取り組みの実践まで時間がかかることもあり、事例以外にも日々の業務の中からキーワードを抽出したテーマトークなどの実践も取り入れていく。
- ・事例③については地域の社会資源の不足として地域課題とする。

### 【高齢者関係機関との交流会（9月開催）】

（取り組み内容）

- ・第一部：ケアマネに向けて障害サービスと介護保険の併用で受けられるサービスの説明。  
地域福祉課より介護保険利用者でも利用できる障害福祉サービスについての説明。  
らららイーストより介護保険利用者でも利用できる就労継続支援B型の説明。
- ・第二部：グループワーク：介護保険への移行時にどんな問題があるか。移行後の解決方法について。

（結果）お互いの顔が見える関係作りは必要とし令和5年度も交流会を実施する。

### 【児童の福祉サービスについて（未実施）】

（検討内容）

- ・地域にどんなサービスがあるのかを行政機関と共有する場を企画していく。
- ・指定の連絡会で共有して企画に参加してもらう。
- ・区自立支援協議会で、区の特徴もあるがこども食堂などの社会資源を共有してもいい。

（結果）令和4年度は企画の検討のみで令和5年度以降へ持ち越しとする。

#### <取り組みから見てきたこと>

- ・社会資源の再確認。重訪利用者への喀痰吸引のできるヘルパー事業所が足りていない。
- ・東区ではヤングケアラーは話題としては過去に挙がるものの複合的な課題の取り組みの中で他の課題に焦点が挙がり、ヤングケアラーへの支援の実績は広くは認知されていない。

## 2. 東区独自の取り組み

### ○地域の資源について

#### (検討内容)

- ・東区の地域の資源についての再確認をしてはどうか。

#### (取り組み)

- ・年間計画に載せた統計情報以外に加え、堺市のホームページの URL 等を毎月の議事録に載せることにより共有。

#### (参考)

- ・堺市ホームページ（統計資料）
- ・堺市障害者更生相談所の事業概要の最終ページに全区の療育手帳数など。
- ・精神保健課データ集に全区の精神保健福祉手帳所持者数など。

### <取り組みから見えてきたこと>

- ・情報を継続して共有することについてまだ効果は表れていないが令和5年度も継続して取り組む。